PRESS RELEASE



TEL. 024-944-4744(代)

各位

会社名株式会社アサカ理研 代表者名代表取締役社長 野納飯展 (コード番号:5724)問合せ先経営企画室長 金澤拓哉

水晶デバイスの貴金属ドライメッキマスクの洗浄能力増強について 〜処理能力を来年1月から200万枚/月に増強〜

当社は、水晶デバイスの生産工程で使用されるドライメッキマスクの洗浄事業において、来年1月までに 処理能力を増強する計画です。

水晶デバイスには、ドライメッキによって貴金属が成膜されますが、マスクと呼ばれる治具にも貴金属が付着します。当社は、そのマスクについた貴金属を剥離・洗浄して、貴金属を回収・精製するとともに、再生したマスクを水晶デバイスメーカーに返却しています。

水晶デバイスは、日本が高いシェアを保っている電子部品で、情報通信機器やAV機器、車載機器等のエレクトロニクス製品に幅広く使用され、日本国内での年間生産数量はおよそ2百数十億個と推定されます。

当社は、水晶デバイスのドライメッキ工程で使用されるマスクの洗浄において、5割以上のシェアを持っております。昨今、製品の高品質化を背景に、水晶デバイスメーカーでは、マスクを頻繁に交換する傾向にあることから、当社は、マスクの洗浄処理枚数が増加することや、納期短縮の要求が強まることを見込んでおります。これらのニーズに応えるため、本社工場内に、マスクの洗浄ラインを1ライン増設し、月間処理能力を、200万枚に増強する計画を立てております。

なお、今回の増設に伴う投資額は、およそ1億円を見込んでおりますが、今年度の業績に与える影響は 軽微であり、平成27年5月8日に公表した通期業績予想の修正はありません。

以上